

参加者が大喜利や線香花火持続対決に挑戦 高校生企画の「丹波祭」



真剣な表情で線香花火を見つめる参加者

9月15日、FOREST DOOR 神楽で大喜利大会や謎解き、線香花火持続対決などを行う丹波祭が開催されました。柏原、氷上、氷上西高校の生徒有志10人で構成するプロジェクトのメンバーが、地域の住民や企業と協力して丹波地域を活性化させることを目的に企画。

音楽ステージ、グルメコーナーなど、生徒たちが地域を駆け回って準備した多彩な企画が催され、多くの親子連れが楽しみました。

500万本のいろとりどりのコスモスが 秋の丹波市を鮮やかに彩る



色鮮やかに咲くコスモスを背景に写真撮影をする観光客

10月6日、氷上地域清住の休耕田で、コスモスマツリが開催されました。地元住民でつくる清住村おこし実行委員会が約30年前に整備したもので、甲子園球場の約1.8倍の休耕田に、ピンクや白のセンセーションやオレンジ色の黄花コスモスを栽培。約500万本のコスモスの花が秋空に揺れ、景色を鮮やかに彩り、観光客を目で楽しませたほか、会場では黒枝豆の販売や屋台も出展し、味覚でも秋を楽しませました。

前山から丹波市豪雨災害を振り返る FM805 たんば 10周年祭

9月16日、市島地域前山コミュニティセンターで、地域FMラジオ「805 たんば」の「想いをつないだ10年祭」公開生放送が行われました。同FMは平成26年の丹波市豪雨災害で、前山地区など甚大な被害があった被災者に必要な情報を届けようと、同コミュニティセンターで約2カ月にわたって放送を続けた災害FMがルーツ。

復旧や復興に携わった人や、災害FMの立ち上げに尽力した人たちが出演し、10年前の様子や思いなどを振り返りました。



炊き出しのエピソードを話す高見さん（写真中央）

丹波市制・丹波市社協 20周年記念 社協ふくしまつり 2024

10月5日、春日文化ホールで、社協ふくしまつり2024が開催されました。丹波市制と丹波市社協の20周年を記念し、共同事業として行われたもので、会場には市内の障害者就労支援事業所による飲食・小物類の販売ブースなどが並びました。

記念講演には写真家でジャーナリストの國森康弘さんが、「私たちの命は、じいちゃん・ばあちゃん、そしてこの先子どもたちとバトンリレーのようにつながっている」と語り、写真を通して看取りの現場を紹介しました。



記念講演で看取りの現場での経験を話す國森さん

丹波ゆめタウン、コモレ丹波の森に イベント集結「ミーツ丹波」

9月28、29の両日、丹波ゆめタウンとコモレ丹波の森を会場に、さまざまな催しが集結したイベント「ミーツ丹波」が初開催されました。防災やフレイル予防が学べたり、子ども向けの体験ワークショップのほか、「はたらくるま」が並ぶなど、大勢の人出でにぎわいました。

買い物をしてながら、地域住民が気持ちよく暮らし続けるためのヒントに出合える（ミーツ）というコンセプトで開催され、市内に拠点がある数々の団体や企業が参加しました。

28日のコモレ会場の氷上特別支援学校のブースでは、赤・黄・青・緑の4つのボタンのみを使用し、年齢や障がいの有無などにかかわらず、誰もが参加し楽しむことができる「UDe-スポーツ」が行われ、大人も子どもに混ざりながらゲームを楽しみました。また、市内障害者就労支援事業所で生産・製造した商品を販売するキッチンカーなどが並びました。29日の丹波ゆめタウン会場では約20台のさまざまな「はたらくるま」が並び、憧れの車の前で記念撮影やアトラクションなどを体験しました。

全身を使って音楽を楽しむ 吉見小にジャズバンドが来校



バンドのリズムに合わせて手拍子する児童

9月26日、吉見小学校体育館で、日本を代表する金管楽器と打楽器を中心に構成するニューオリンズスタイルのバンド「ブラック・ボトム・ブラス・バンド」を招き、全校児童と保護者、地域住民を対象に芸術鑑賞会が開催されました。

校歌や「聖者の行進」など6曲を演奏し、楽器の役割やジャズの歴史、音楽の楽しみ方などを紹介。児童は体育館内を自由に移動し、肩を揺らしたり、飛び跳ねたり自由なスタイルで音楽を聴き、全身を使ってジャズ音楽を楽しみました。



年齢を問わず白熱する闘いを見せた Ude スポーツ体験ブース



消防隊員に支えられながら、ロープレスキューを体験

明るい選挙啓発ポスター 小学生部門入選に新井小の原田さん

9月30日、新井小学校で「明るい選挙啓発ポスター」の入選者表彰式が行われました。選挙の大切さを感じてもらうため、市内の小中学生から高校生までの児童生徒を対象に行われた募集。

小学生部門で入選した新井小学校6年生の原田萌衣さんは、「選挙を通じて平和な未来になって欲しいと思い、虹を描き、未来に“つながぐ”ことをイメージしてバトンを持った人を描いた」と絵に込めた思いを語りました。



受賞作品と表彰状を手に笑顔を見せる原田さん